

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2026/7/13

■ID: c26001

■参加プログラム/Program: AUA I&E Summer School

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-short-others.html>

■派遣先大学/Host university: 清華大学

■プログラム期間/Program period 2026/06/27 ~ 2026/07/10

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 学際情報学府

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 修士 2 年

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

参加の動機は、中国の名門大学である清华大学を見たかったこと及び自己の専門に関するテーマを扱うものであったからである。参加を決めたのは告知が出て直ぐである。参加をするにあたっていくつかの授業を欠席せざるを得なかった。しかし、幸いにも成績評価は試験のみであったため参加を決意した。本プログラムのテーマは、理系を対象としており、参加者が理系に限定されているように見えるが、実際には文系の人も参加している。展示内容も理系ではないと分からないというものではない。文理やバックグラウンドを気にせずに応募されるとよい。

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:

予習はない、復習もない。授業はない。先端科学技術の施設見学を毎日行う。初日に行われたウェルカムディナーは、とても楽しいものであった。皆で歌やダンスを踊り一体感を感じられた。クラブに行ったことはなく、踊り方は分からなかったがリズムに合わせて心の向くまま体を動かせばよいのだと知った。恥ずかしがらずに歌や踊りを楽しむといい。毎日 TGYD の白 T シャツを着るので洗濯が必要となる。洗濯時には、中国の電話番号が必要となるため、洗濯に困らないように中国の空港に着いてから SIM カードの契約をするといふ。施設見学の度に、集合写真を何度も撮影する。加えて、TGYD の掛け声で撮影が行われる。非常に煩わしく感じられると思う。他国の参加者もトラウマになるくらいなので覚悟しておくといふと思われる。次回のプログラム先がどこになるかは不明であるが、私が最初に滞在した西湖大学は、中心地から離れた所にあるため辿り着くことが容易ではない。地下鉄とバスを使う必要がある。バスを使うにはアリペイで市民カードをダウンロードしておくことが必要である。ダウンロードできない場合には、交渉して乗せてもらう必要がある。幸いにも乗車料金が低いいため、乗車を拒否されるということはない。西湖大学では、寮に滞在した。一人部屋で共同トイレ、シャワールームがある。長屋のようなものであるが共有部分があり計 4 人が入る。4 人と数日間顔を合わせる仲良くなる。プログラム終了まで基本的に同じメンバーと過ごすことになることから、友好関係を積極的に構築することが必要である。西湖大学では、AI サンドボックスのイベントがある。AI について各人が興味のあるテーマを選択肢の中から選び、選択に応じて配属される。配属先のチームでは、簡単な自己紹介と自身の意見を述べるのが求められる。意見を元に AI で資料を作成

し、割り振られた時間に各担当者が見学者に対して資料の説明を行う。投票を行い一番素晴らしい展示は表彰される。空き時間には立食ができるため、さまざまな人と語らいながら食事をされるとよい。また、最初の施設見学では、施設の説明と質問タイムがある。質問タイムでは、質問をした者におもちゃが配られるため、欲しい方は積極的に発言をするとよい。杭州では、西湖を見るとよい。何度も見ても美しい湖である。また、杭州の港にライトショーを見に行くイベントがある。ライトショーは以前、見たことがあったが、季節ごとに内容が異なるため、一度見たことがある人でも楽しめる。西湖大学では、3 日で 200 元の生活費が与えられるため食堂でさまざまなものを食べられる。特に中国では果物が安く、珍しいものが多いのでさまざまなものを食べられるとよい。施設見学では、最先端の科学技術施設を訪問した。特に印象に残ったのは、人間の動きを機械が学習・分析し、人間のように動くというテクノロジーである。人間の μ 波の動きを測定し、機械が学習することで人間の動きを真似るというものである。これは、大変優れた科学技術であると思った。他方で、使い方次第では危険が生じることもあり、こうした科学技術をどのように運用していくか考えることが重要である。杭州に数日滞在し、西湖大学を離れた後、次は、上海へと向かった。上海ではホテルに滞在した。ホテルは 2 人部屋であったが広々としたスペースであり終始快適であった。上海ではイノベーションセンターを訪問した。センターの展示では、特にプラスチックのように柔らかいガラスが印象的であった。最も薄いもので 30 μm であり、ガラスとは信じられない薄さであった。またドローンの展示も興味深く、重量 530g、飛行持続時間 30 分、最小飛行距離 1.5m のドローンが展示されていた。最小でも人間の子供の高さまで飛行することができるドローンであり、大規模な屋外公演で用いられることが予定されているとのことであった。加えて、伝統工芸品の展示も興味深かった。特に、万年筆の展示では、1 本、100 万円以上する万年筆が飾られており一同驚愕していた。その他、上海市サイバーセキュリティ産業モデル園を訪れた。サイバーセキュリティ産業は、70 億人民元(日本円にして約 1400 億円)の経済効果を生み出すと述べられていた。通常、立ち入ることはできない実際のサイバーセキュリティ活動の現場を拝見した。高炉の熱を利用して発電を行う他、水力を利用した発電を行うことでサイバー攻撃を行っているという展示があり、サイバー攻撃を赤のポイントで示すと日本列島が真っ赤に染まる原因はここにあるのだと思った。加えて、ここまで大規模な発電を行うと環境負荷が大きいのではないかと思われた。加えて、サイバー攻撃と自動運転技術の展示が興味深かった。偽のデータ情報やシステム操作が指摘されており今後の自動運転技術では、こうしたサイバー攻撃の問題も考えていく必要があるのだと思った。加えて、悪意ある QR コードの利用についての展示があり、サイバー犯罪として QR コードが被害を受ける可能性があることが指摘されていた。特に、中国のように QR コード決済が普及している国では、サイバー犯罪の対象として QR コード情報が狙われ、多額の金銭が盗まれるというのは深刻な問題であり、QR 決済の信用性を根底から覆す問題であると思った。その他、微信の情報窃取やモバイルバッテリーへのサイバー攻撃等が指摘されており、中国としてもサイバー攻撃の問題は看過できない事柄であるのだと思った。その他に、上海清华国際イノベーションセンターを訪れ、上海政府の方たちとセッションを行った。特に印象的であったのは、優秀な人材を対象に一定期間、生活費、居住費手当を給付するというものである。これによりイノベーションを促進する狙いがあると思われる。他方で、これは上海という都市部を対象とする支援であり、田舎の地域に住む者に対してはどのように支援を行っていくのか疑問が残った。上海では、外灘にも訪れた。2 回目の外灘であったが何度見ても美しいと思った。その後、上海から北京に移動し、清华大学の寮

に滞在した。北京では、小米の工場に行き、ロボットが車を製造しているのを見て技術力の高さに驚いた。また小米で製造された車を見学した。広々としたスペース、車内の冷蔵設備という機能の充実さに加え、最高速度 350 キロという新幹線並みの速度が出る車に驚かされた。中关村国家自主イノベーションモデル区では、さまざまな最先端科学技術の展示を見た。中国人民解放军空軍軍医大学の研究では、6 つの遺伝子編集戦略と 7 つの免疫抑制療法が確立し、豚の肝臓を人に移植できることが報告されていた。また、具身 AI 収穫ロボットは、感知、位置特定、順応な操作という特徴を有しており、農作業の自動化に役立つと思われる。人件費削減に繋がる技術であり注目に値すると思った。その後、別の会場に移動し、各班に分かれて AI についての発表を行った。私たちの班は、AI を利用した市民活動の促進プログラムを発表した。最終日は、清华大学にてパーティが行われた。各人が歌やダンスを楽しんだ。本イベントは、さまざまな国から叡智が結集し意見交換を行うというものであり、非常に面白いものであった。特に、人種、国籍、宗教の有無に拘わらずお互いの国と文化を尊重し、意見を交換し合い基本的な価値観を共有できたのは貴重な経験であったと思われる。他方で、日本の文化や日本語がかなり知られていることは驚きであった。日本は、小さな島国であるというくらいの認識であったため、これほど注目されているということには驚かされた。東京大学に推薦を戴け、このような貴重な経験ができたことに感謝申し上げる。

■プログラム以外の活動で、取り組んだものをすべて教えてください/Activities you took part in other than this program :

時間の関係上、取組んではいないが、スポーツ施設やジムがあるので積極的に利用されるとよい。

■プログラム以外の活動で、取り組んだものについて、具体的に教えてください/Details of the activities you chose in other than this program :

週末はない。基本的に休みはないが、空き時間にプログラムで知り合った友人とご飯やカフェに行ったりした。

派遣先の環境について/About environment at the host institution

■設備/Facilities :

食堂は広くメニューも充実しております。お腹も心も満たされます。東京大学の食堂もこのようであるとよいと思いました。

■サポート体制/Support for students :

ないです。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■宿泊先の種類/Type of accommodation :

学生寮、ホテル

■宿泊先の様子/Environment around the accommodation :

個室やルームシェア等さまざまです。

■気候、滞在先周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :

梅雨の時期でしたが、幸い晴れが多かったです。食事は油系の多いため果物を食べ、肉類は控えるとよいと思います。

■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management,

local health care system, and any actions taken to maintain your health:
医療機関にはかかっていません。医者に行っている人もいましたが、保険が適用されるか事前に確認しておくが必要であると思います。
■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy:
微信, 支付宝が必要になるため出国前に使える状態にしておく必要があります。

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation:
提出物がありますが、基本的に任意です。応募の際に記入する書類以外には提出必須のものはないと思います。
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo:
特にございません
■語学関係の準備/Language preparation:
語学レベルは高くないです。基本的な語彙があれば会話は問題ないと思います。
■ビザの手続き/Procedures for visa:
30 日以内の滞在であるためビザは取得しておりません。
■保険・医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health:
保険は大学の保険に加入しました。

費用・奨学金に関する事/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :		
航空費/Airfare	80,000	円/JPY
保険関係(日本で加入したものと留学先で加入したものの合計)/Overseas travel insurance fee	6,000	円/JPY
上記以外の渡航のために要した費用(ビザ・予防接種等) / Travel-related expenses not covered in the above (visa, vaccinations etc.)		円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :		

■ 留学先で費やした生活費/Overall expenses spent during the program :		
食費/Food	0	円/JPY
交通費/Transportation	0	円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	20,000	円/JPY
■ その他、補足等/ Additional comments :		
■ プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate :		
受給しなかった		

■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :
■受給金額(月額)/Monthly stipend :
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts :
非常に満足している。本イベントは、さまざまな国から叡智が結集し意見交換を行うというものであり、非常に面白いものであった。特に、人種、国籍、宗教の有無に拘わらずお互いの国と文化を尊重し、意見を交換し合い基本的な価値観を共有できたのは貴重な経験であったと思われる。他方で、日本の文化や日本語がかなり知られていることは驚きであった。日本は、小さな島国であるというくらいの認識であったため、これほど注目されているということには驚かされた。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
プログラムの参加を通して知ったこととしては linkedin を利用している学生が多く、自身を積極的に売り込んでいるという点である。日本にいと日本市場のことだけを考えてしまうが、EU 地域の学生にとっては、EU 全体が市場なのであり、linkedin を使って自分のしたい仕事を積極的に得ていくことが必要である。日本の市場に留まらず海外に自らを売り込んでいく姿勢を持つことが必要であると思った。
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
公的機関
■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
積極的に参加することが必要であると思います。私自身、英語ができるというのではなく、また今回のプログラムが科学技術系であるため参加してもついていけないのか不安でしたが、結果は何の問題もありませんでした。私は、できないいいわけばかり直ぐ考えてしまう人間ですが、できないという前にまずはやってみることが必要であると学びました。英語ができないなら行ってその先で英語に慣れればよい、知識がないならその場で知識を身に着ければよい、とにかく行動が大切であると学びました。まずは、一歩踏み出すことが必要であると思います。また、自分の意見を積極的に伝えることが必要であると思います。自分がどのような人間であるのか、日本という国はどのような国であるのか言葉を尽くすことで相手との信頼関係を構築できると思います。加えて、可能な限り、さまざまな国の言葉を学ばれるとよいと思います。挨拶程度であっても、自国の言葉に興味を持って貰えるというのは嬉しいのは、各国共通であり、信頼関係構築の第一歩となります。
■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
特にないです。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2026/7/28

■ID: C26002

■参加プログラム/Program: AUA I&E Summer School

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-short-others.html>

■派遣先大学/Host university: 清華大学

■プログラム期間/Program period 2026/06/27 ~ 2026/07/10

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 工学部

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 4 年

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

韓国語を学んでいたので留学の 1 年くらい前に決めた

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:

テストや授業のやり方が日本とは違って適当で面白かった

■プログラム以外の活動で、取り組んだものをすべて教えてください/Activities you took part in other than this program:

スポーツ, 文化活動

■プログラム以外の活動で、取り組んだものについて、具体的に教えてください/Details of the activities you chose in other than this program:

日韓交流団体への参加

派遣先の環境について/About environment at the host institution

■設備/Facilities:

食堂 図書館

■サポート体制/Support for students:

寮を提供していた

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■宿泊先の種類/Type of accommodation:

アパートなどの賃貸

■宿泊先の様子/Environment around the accommodation:

ハエが多い 床暖房が暖かい

■気候、滞在先周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc.:

便利 冬は地獄 ペディンコート買った方がいい

■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management,

local health care system, and any actions taken to maintain your health:
知らない人は無視するようにした
■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy:
WISE

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation:
UTASにあるものやビザ取得など
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo:
単位読み替え用に授業は選んだ方がいいかも
■語学関係の準備/Language preparation:
行ったら割となんとかなるから気負い過ぎなくてもいい ただ現地語は絶対事前と留学中で学習するべき
■ビザの手続き/Procedures for visa:
D-2 2週間くらい
■保険・医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health:
OSSMA, 付帯海学保険

費用・奨学金に関する事/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation:		
航空費/Airfare	100,000	円/JPY
保険関係(日本で加入したものと留学先で加入したものの合計)/Overseas travel insurance fee	12,000	円/JPY
上記以外の渡航のために要した費用(ビザ・予防接種等)/Travel-related expenses not covered in the above (visa, vaccinations etc.)		円/JPY
■その他、補足等/Additional comments:		

■留学先で費やした生活費/Overall expenses spent during the program:		
食費/Food	50,000	円/JPY
交通費/Transportation	50,000	円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	30,000	円/JPY
■その他、補足等/Additional comments:		
■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate:		
受給した		
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships:		
Fung		

■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :
■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :
大学(本部国際教育推進課)からの案内

プログラムを振り返って/Reflection

■ プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts :
諸問題を外から見つめられる
■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
細かいことを気にしなくなった
■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
公的機関, 民間企業, 修士・博士に進学
■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
現地に一回行って下見した方がいい
■ 準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
特に無い